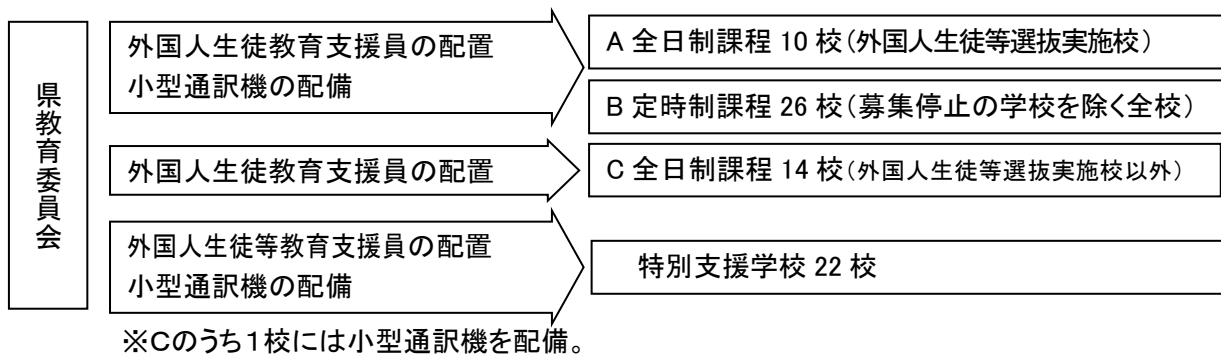


令和3年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
 (I 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)
 事業内容報告書の概要

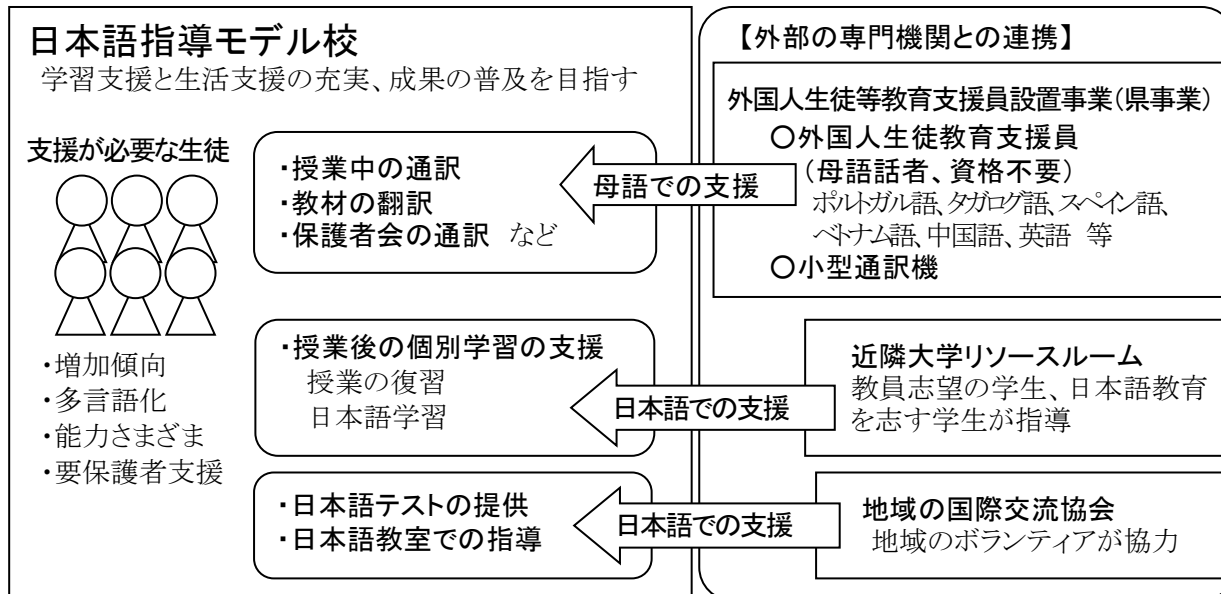
地方公共団体名【 愛知県教育委員会 】

令和3年度に実施した取組の内容及び成果と課題

1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等)
 【外国人生徒等教育支援員設置事業(県教育委員会の取組)】



【日本語指導モデル校における取組】



4. その他(今後の取組予定等)

- ・令和4年度は、県立高等学校に17,205時間分、県立特別支援学校に1,427時間分の予算を確保し、必要な学校に外国人生徒教育支援員を配置して外国人生徒への支援を行う(令和3年度は県立高等学校17,205時間分、県立特別支援学校は1,327時間分)。
- ・令和4年度は、高等学校5校を日本語指導モデル校とし、日本語教師の資格をもった支援員が日本語指導を行う。
- ・令和4年度は、県立高校に37台、県立特別支援学校に15台の小型通訳機を配備する(令和3年度は県立高校37台、県立特別支援学校17台)。
- ・連絡協議会や教頭会等で外国人生徒支援に係る情報を周知・共有する機会を設定し、成果の普及を図る。

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、担当者・連絡先欄を除き、様式9(添付1)の5. 成果イメージ資料のポンチ絵と併せて、文部科学省ホームページで公開する。